

どうする？地域の担い手 これからのまちづくりのカタチ

日 時:令和5年3月11日(土)

場 所:とみさと市民活動サポートセンター 市民活動ブース1.2

講 師:影山 貴大氏

(合同会社J-doc company 代表社員)

参加者:20名

今回の「とみさと協働塾」は、担い手不足に悩む市民活動団体や地縁団体の方に向け、若い世代・働き世代が地域活動をしたくなるようなしなげづくりについての学びがありました。

また、ワークショップはレゴブロックを使った斬新な取組で、実際に手を動かしながら考えていることを可視化していきました。「意味のないものを意味のあるものにする」練習を行うことで、グループワークの中で相手の話を聴く大切さを知り、価値観の違いがあることを学べたワークショップでした。



講座の会場の様子



ワークショップの様子



出来上がった作品

【参加者の感想】(一部抜粋)

- ・自分たちの活動や人材確保のツールとして活用したい、そんな楽しく印象的な内容でした。
- ・目的へのアプローチが整理されていて面白かったです。人を巻き込む工夫について活かそう。
- ・ありがとうございました！考えることをやめないようにします！
- ・年代を超えて接して、自分の既成概念を排除していこうと思う

【成果】

- ・自分にできることを行動に移していこうという前向きな気持ちになれた人が多かった。
- ・ワークショップで、相手の意見を聞くことの大切さに気付く人が多かった。



講師の影山貴大氏